

ふりがな				受付	入金確認
氏名					
アルファベット表記 (海外の氏名の方)	※日本名の方は原則「ヘボン式」で表記しますので、記入は不要です。				
所属	※アマチュア選手は J-sys による JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得したクラブ名 (JGA 加盟ゴルフ場名) または団体名を記入願います。				
学校名・学年 (学生の場合)					
生年月日	19 20	年	月	日	年齢 歳 (2013. 7. 23 現在)
住所 (書類送付先)	〒				
電話	連絡先:		携帯:		

現在 JGA では過去の競技データを整理しております。過去の競技記録の整理のため、過去に JGA 主催競技に出場した経験のある方で、出場当時と現在の氏名(登録名を含む)に変更がある方はその当時の氏名(フルネーム)の記入にご協力をお願いします。(任意記入項目・該当しない方は記入不要)

過去出場時氏名: \_\_\_\_\_ (西暦 \_\_\_\_\_ 年頃 JGA 主催競技に出場)

★全ての申込者(ア・プ問わず)が記入して下さい。左記(1)、(2)項について内容を理解し同意の上、本競技に申し込みます。

- (1) 競技規定に記載する内容について
- (2) 別紙の「プロテストやQTを受験した経歴のあるプレーヤーへの注意事項」について

**自 署**

本自署欄は参加者本人の直筆の署名が必要です。署名がコピーやFAX等により印刷されたものである場合は不備となります。

★全ての申込者が希望ブロック(A~D)を記入して下さい: 原則先着順に決定します

第1希望	第2希望	第3希望	第4希望	<記入上の注意事項>
				必ず第4希望まで記入して下さい。途中までしか記入がなかった場合や同じブロックを複数個所に記入した場合はJGAが会場を決定します。ブロックに関する個別の依頼や要望は一切受け付けません。締切後、会場決定等の理由により参加を取り消しても参加料の返金は認めません。

★競技規定 C-4 項 参加資格 (4) ~ (6) の申込者は該当する資格にチェック(レ印)して下さい。

資 格 (いずれかにレ印)	<input type="checkbox"/> JLPGA プロフェッショナル会員/インターナショナルプロフェッショナル会員(4)	<input type="checkbox"/> 2012年 JLPGA セカンド QT 出場有資格者(6)
	<input type="checkbox"/> 2013年 JLPGA プロテスト第2次予選受験者(5) ( ) 地区を受験	<input type="checkbox"/> 2012年 JLPGA サード QT 出場有資格者(6)
		<input type="checkbox"/> 2012年 JLPGA ファイナル QT 出場有資格者(6)
上記有資格者(5)(6)の方で申込時点においてアマチュア資格を保持している方は以下の確認欄にチェック(レ印)をご記入下さい。		
本選に進出した場合の賞金 の受領について	<input type="checkbox"/> 賞金を受け取ります。(アマチュア資格を喪失します)	
	<input type="checkbox"/> 賞金は受け取らず、アマチュア資格を保持します。	

★これより下は、全てのアマチュア選手が記入して下さい。(プロフェッショナル選手は記入不要です)

私は(公財)日本ゴルフ協会アマチュア資格規則に照らし、申込み時点において同規則のいずれの規定にも抵触しておりません。

**自 署**

本自署欄については参加者本人による直筆の署名が必要です。署名がコピーやFAX等により印刷されたものである場合は不備となります。

★全てのアマチュア選手は JGA/USGA ハンディキャップインデックスについて以下の項目にご記入願います。

私の所持する JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、JGA/USGA ハンディキャップインデックス査定システム(J-sys)により取得しています。

直近の数値は ( . ) (小数点以下第1位まで記入) ≤ 7.4 で、有効期限内(申込書到着日から過去6カ月以内)です。(□にレ印を付けてください)

はい いいえ ※「いいえ」とお答えいただいた場合、参加できません。

※申込書到着後、J-sysにより取得したJGA/USGAハンディキャップインデックスを確認させていただきます。

●締切日までに『本申込書』と『参加料(税込¥26,000)』を現金書留に同封し、JGAまで送付して下さい。申込締切日: 7月4日(木) 17時

## プロテストやQTを受験した経歴のあるプレーヤーへの注意事項

2001年12月31日以前に研修生として活動されていた方や、プロテスト、プロインストラクターテスト、QTなどを受験した経歴のある方は下記を読み、自身がアマチュアであるかどうかを確認したうえでお申込み下さい。

**2001年12月31日以前**にプロフェッショナルゴルファーになるための次の最終段階の競技やテストに参加したことのあるプレーヤーは当時の規則 2-2 の解釈により、アマチュア資格を喪失しています。

- ① 日本プロゴルフ協会の「資格認定最終プロテスト」
- ② 日本プロゴルフ協会インストラクター制度の「準B級講習会」や「指導員助手講習会」(~2000)
- ③ 日本プロゴルフ協会ティーチングプロ制度(2002~)の「C級講習会」
- ④ 日本女子プロゴルフ協会の「プロテスト(最終テスト)」
- ⑤ 日本女子プロゴルフ協会のインストラクター制度の「指導員助手講習会」
- ⑥ 日本女子プロゴルフ協会の「ファイナルクオリファイイングトーナメント」
- ⑦ 日本ゴルフツアー機構の「ファイナルクオリファイイングトーナメント」
- ⑧ 日本プロゴルフ協会シニアツアーにおける「最終予選」

**2002年1月1日以後**の解釈は次のとおりです。なお2012年規則から旧規則 2-2 の解釈は規則 2-1 で示されています。

アマチュアゴルファーはプロフェッショナルゴルファーとして行動をしたり、自らをプロフェッショナルゴルファーと名乗ったりしてはならない。この規則を適用する場合、プロフェッショナルゴルファーとは次の人をいう。

- 自分の職業としてゲームをプレーする人
  - プロフェッショナルゴルファーとして働く人
  - プロフェッショナルとしてゴルフ競技に参加する人
  - プロフェッショナルゴルフ協会(PGA)の会員資格を持つ人
  - プロフェッショナルゴルファーにだけ限定したプロフェッショナルツアーの会員資格を持つ人
- 《以下省略》

2002年1月1日以後は上記に該当せず、また他のアマチュア資格に抵触していなければプロテストやQTに参加してもアマチュア資格は喪失しません。

**注:**プロフェッショナルテスト、QTなどで賞金が設定されている競技に参加する場合は、賞金を受け取る権利を放棄してからプレーしなければなりません。

以上  
2012年2月